



【2. てんかんへの理解のための啓発】

「癲癇発作」を繰り返す慢性の脳の病気です。脳神経細胞のリズムが乱れて過剰に脳が興奮することによって「てんかん発作」は起きます。およそ100人に1人が癲癇を持っていると考えられており、よくある病気の一つに属するといえます。症状としては、全身または部分的に痙攣を起こし、意識を失い、倒れ込んでしまいます。時には、口から泡をふいてしまうことも。

自身が癲癇であることを人に言わないケースが多々あります。

悲しいことです。就職しにくかったり、自動車の運転免許がスムーズにもらえないこともあったりすることが、もしかしたら理由になってきたのかもしれませんが。100人にひとり、みなさんの会社の社員さんにも、言えずにそっとしている人がいるかもしれません。

「世界パープルデー」というキャンペーンがあります。

カナダに住むひとりの少女からはじまった世界的な癲癇啓発の日、26th. March。

癲癇を知り、人に優しく、愛をもって生きる。

3月26日がその日です。姫路城を紫に染めたく、この告知キャンペーンを姫路城から展開していきたいと、皆様のご協力とともに、かつてのシトラスリボンのようなイベントにできればと思っています。

現在、パープルデー名古屋、パープルデー大阪、パープルデーながさきがあるようです。

今のところ、「パープルデーひめじ」を作るという提案ではありませんが、この活動が誰かの心に響いていけばと思っています。

ご参考（パープルデー）

<https://www.purpleday-jp.net/>

「てんかんをもつ人を、ひとりぼっちにしない」



缶バッジ 2 種

A パターン



B パターン

